

## 《長野県の学校歯科保健について》

佐久市では4月より佐久平浅間小学校が新設開校する。

従来、学校歯科保健の基本は日常生活習慣、地域家庭との連携、授業実践であった。

平成25年度は長野県の12歳におけるDMF歯数は全国平均よりはるかに低値で全国7位であった。DMF歯数を年度で追うと3歳児健診の低値の群はその後も低値であった。

県下の歯科受診勧告者の受診率は小学校で57%中学校で37%で受診しない理由の86.4%は親の意識等の家庭環境であった。

学校歯科保健成功のために、日常生活習慣、地域・家庭との連携、授業実践の3本柱と共に、児童の自立とモチベーションの維持が重要であると思われる。